

県産材利用課題についてのアンケート

「おかやま緑のネットワーク」は岡山県から「平成26年度公共建築物等木材促進事業（県産材公共建築物利用情報提供事業）」が委託されています。つきましては公共建築物等における県産材利用課題について、皆様の意見を反映させるため以下のアンケートをご自由に記入をお願いします。

■ 仕事の分野について該当番号に○を付けてください。

- 1 林業 2 製材 3 流通 4 材木店 5 建設会社・工務店 5 設計事務所
6 消費者 7 研究者 8 その他

■ 県産材（国産材）を使用するには、どうすれば使いやすくなると思いますか。

（例：規格サイズや長さ、材種、品質、在庫、生産などについて、具体的にご意見ください）

■ 配布資料のCLT（直交集成材）について伺います。該当番号に○を付けてください。

Q1 1：CLTについて知っている 2：少し知っている 3：まったく知らない

Q2 1：関心がある 2：採用してみたい 3：関心ない 4：分からない

Q3 CLTの普及するためのこれからの課題・問題点についてお聞かせください。

■ 住宅や公共建築物・民間建築物において県産材（国産材）の利用拡大するには、どんな新しい制度や技術・情報が必要と思いますか？

■ その他県産材（国産材）の利用拡大について、自由にご意見をお書きください。

アンケートにご協力ありがとうございます、県産材の利用拡大の一助とします。

県産材利用課題についてのアンケート結果 まとめ

■アンケート回答者の「仕事の分野」

①	林業	0
②	製材	2
③	流通	8
④	材木店	1
⑤-1	建築会社・工務店	10
⑤-2	設計事務所	15
⑥	消費者	0
⑦	研究者	2
⑧	その他	17
計		55

■CLTの認知度についての回答

仕事の分野		1 : 知っている	2 : 少し知っている	3 : まったく知らない	無回答
①	林業	0	0	0	0
②	製材	1	1	0	0
③	流通	4	3	1	0
④	材木店	0	1	0	0
⑤-1	建築会社・工務店	3	5	1	1
⑤-2	設計事務所	4	9	2	0
⑥	消費者	0	0	0	0
⑦	研究者	1	1	0	0
⑧	その他	5	8	2	2
計		18	28	6	3

■CLTへの関心についての回答

仕事の分野		1 : 関心がある	2 : 採用してみたい	3 : 関心ない	4 : 分からない	無回答
①	林業	0	0	0	0	0
②	製材	1	0	0	1	0
③	流通	7	1	0	1	0
④	材木店	0	1	0	0	0
⑤-1	建築会社・工務店	4	2	2	2	0
⑤-2	設計事務所	8	2	1	3	1
⑥	消費者	0	0	0	0	0
⑦	研究者	1	0	0	1	0
⑧	その他	10	3	0	3	1
計		31	9	3	11	2

(※流通：「関心がある」と「採用したい」に複数回答が1件あり)

仕事の分野：②製材

県産材利用課題についてのアンケート結果

■県産材（国産材）を使用するには、どうすれば使いやすくなると思いますか。

- ・規格サイズや長さ：基準を作り統一する。
- ・品質：JASの見直し [製材]

- ・国内に世界有数の木材マーケットがあるにもかかわらず、特に製材品を中心とする領域で国産材は輸入材に対して競争力を欠いているので、当たり前の話だが製品の基本的な競争力（Q：品質、C：コスト、D：供給の安定性）を上げることが先決です。
しかしこのためには林業の進化（森林経営力の強化を基盤とした供給の安定性確保）とバイオマス市場の開拓（用材以外で収益を確保することにより用材のコストを下げる）が必須要件となります。これらは欧州や北米の林業先進国がすでに実現していることでもあるので、スタート地点に立つための要件です。
また、世界のマーケットや国内森林資源の成長（今後径級の大きな原木が増える）を考えると、国内の木造軸組住宅用材に特化した製材から、板挽き製材中心に移行していく必要もあるのではないかと考えます。
国内マーケットで考えると、建築市場については住宅市場は縮小傾向にあるのに対して、公共建築物を含め非住宅市場は木造にとってまだまだ未開拓の市場であり、伸ばしていくべき市場です。
ただ、この領域を伸ばすためには、木構造計画・計算ができる設計士の層を厚くすることが必要と思います。
…少し質問の意図と外れているかもしれません。申し訳ありません。[製材／その他]

■配布資料のCLT（直交集成材）について伺います。該当番号に○を付けてください。

- Q1
- | | | |
|----------------|---|---|
| 1：CLTについて知っている | → | 1 |
| 2：少し知っている | → | 1 |
| 3：まったく知らない | → | 0 |
- Q2
- | | | |
|-----------|---|---|
| 1：関心がある | → | 1 |
| 2：採用してみたい | → | 0 |
| 3：関心ない | → | 0 |
| 4：分からない | → | 1 |

回答数：計2件

仕事の分野：②製材

Q3 CLTの普及するためのこれからの課題・問題点についてお聞かせください。

・ 価格。施工方法の開発 [製材]

・【建築市場】

設計法・施工法が確立されていない状況なので、建築基準法改正に連動して簡易な設計法の確立と設計士への啓蒙や接合部を含めた施工法の普及活動が重要になると思います。これらと並行してCLT建築の魅力（例えばCLTならではのキャンチレバーなど）をアピールできるような建築事例を重ねていくことも必要です。

また、ベースの話として、他の工法に対して優位性のある建築コストの実現も必要でしょう。さらには、他の工法との組み合わせ利用や部材としての用途開発など、これから造っていく市場なので課題は山積みです。

【製造】

現時点では供給体制は整っておらず、林野庁の需要予測（10年後に50万m³）を考えると、まずは専門工場が複数出てくる必要があります。

しかしCLT建築市場はこれから立ち上げていくための準備段階といった状況で、大きな投資が必要な専門工場を設立するのはリスクが大きすぎることもあり、この面でも課題があります。

【材料】

CLTの材料となる乾燥ラミナについても、まだ国内には供給ソースが整っているとは言えない状況で、この面でも課題があるでしょう。

CLT自体はこれまでにない材料特性や建築物としての可能性を持っているため、上記のように課題は山積しているので立ち上げに当たっては産官学一体となって汗をかく必要がありますが、汗をかく価値の対象であるともいえると思います。[製材／その他]

仕事の分野：②製材

■住宅や公共建築物・民間建築物において県産材（国産材）の利用拡大をするには、どんな新しい制度や技術・情報が必要だと思いますか？

- ・「日本式住宅」の統一フォーマットを作り、使用材料、寸法、施工方法等を判りやすくする。[製材]
- ・県産材という観点なら、手っ取り早いのは公共建築物や補助要件で県産材指定を入れることでしょう。
しかし、国産材の問題の本質が競争力の欠如にあるとしたら、こうした補助は競争力を上げるインセンティブにマイナスのバイアスをかけ、長期的には前に進まない恐れもあります。
欧州などでは、成長する森林資源を活用するために CLT を開発し、新しい製材として KVH や DuoLam、TriLam など、商品開発の取組が盛んで、それを利用した木造建築物の普及も進んでいるようです。
Timber Engineering の面で、日本でもこうした新しい製品を開発していこうという気概がまず必要ではないかと思います。
先ずは、上述した KVH などについても材料サイド、建築サイドが一体となって取り組めば、新しい可能性が見出せるかもしれません。[製材／その他]

■本日のセミナーについて、ご感想をお書きください。(2014.11.26)

なし

■その他県産材（国産材）の利用拡大について、自由にご意見をお書きください。

- ・林産業や木材工業が盛んな地域で、国産材という視点で物事を考える人にあまりあったことがありません。
欧州での数少ない事例では北部イタリアで地域材といった考え方があり、地域材利用に対する補助がありますが、製材工場や集成材工場を視察すると他の地域に比べ明らかに生産性が低く、また前向きな意欲を感じるできませんでした。
やはり守る制度や意識からでは推進力は生まれない、このままではいつまでも補助し続けないと自立できない、という感想です。
国産材を活かしていくのは日本国にとって必要なことです。
近隣の東アジアには日本のように豊富な資源が無く且つ木材マーケット規模が大きいことを考えると、国際競争力をつけて積極的に輸出する、そのために何が必要か、何をすべきか、という発想から物事を考えるのが、遠いようで一番近道ではないかと思います。
[製材／その他]

仕事の分類：③流通

県産材利用課題についてのアンケート結果

■県産材（国産材）を使用するには、どうすれば使いやすくなると思いますか。

- ・製材については、在庫をストックし納期の短縮。
- ・集成材のラミナーについては、発注後2週間程度で納品できるのが望ましい。[流通／材木店]
- ・県産材利用の問題の一つとして、納期までに長い期間が必要であることがあげられます。在庫があれば納期が厳しい案件においても対応することが可能となり、県産材利用量の増加に繋がると思います。[流通]
- ・各県・市町村へ、そのような相談窓口を設置し、木材コーディネーターのようなスペシャリストも配置する。[流通]
- ・杉の平角などの安定供給、納期短縮、価格競争力。[流通]
- ・構造材＝県産（国産）材の集成化～大型工場で大量生産～コストダウン～供給安定
- ・化粧材＝無垢材にて対応する（量は限られる）[流通]
- ・納期の柔軟性。価格。[流通]

■配布資料のCLT（直交集成材）について伺います。該当番号に○を付けてください。

- Q1
- | | | |
|----------------|---|---|
| 1：CLTについて知っている | → | 4 |
| 2：少し知っている | → | 3 |
| 3：まったく知らない | → | 1 |
- Q2
- | | | |
|-----------|---|---|
| 1：関心がある | → | 7 |
| 2：採用してみたい | → | 1 |
| 3：関心ない | → | 0 |
| 4：分からない | → | 1 |

（※「関心がある」と「採用したい」に複数回答が1件あり）

回答数：計8件

仕事の分類：③流通

Q3 CLTの普及するためのこれからの課題・問題点についてお聞かせください。

- ・狭い敷地では搬入に問題がある。大工さんも重たいので運びにくい。[流通]
- ・価格について建物1棟を建築したトータル費が、大断面木構造と同程度にならないと、普及は難しいと考えます。[流通／材木店]
- ・CLTのみを使った工法ではコスト増となってしまうため、CLTのみを使用した工法でなく、大断面の柱や梁と組み合わせた工法を考える必要があると思います。[流通]
- ・価格、接合部。[流通]
- ・規格を統一、量産化し、コストダウンする。[流通]
- ・コンクリート、セメント及び鉄材に負けない強度が得られるので、多くの建築に普及すると思う。今後は、コストダウンが求められます。[流通]

■住宅や公共建築物・民間建築物において県産材（国産材）の利用拡大をするには、どんな新しい制度や技術・情報が必要だと思いますか？

- ・韓国で戸建分譲しています。そこでは岡山県産材を使った集成材を使用しています。製品を輸出するのではなく、日本の住宅を海外へ輸出していくのはどうでしょうか。[流通]
- ・学校、幼稚園、保育園などの法的な準耐化、耐火要求の緩和。[流通／材木店]
- ・県産材の在庫をオンラインで随時把握できる制度を設ければ、設計者やプレカット業者が納期を予測する事ができるようになり、納期が読みにくいという県産材の問題点の解消に繋がると思います。[流通]
- ・補助金。[流通]
- ・最初に設計に入る段階から木造を土俵に入れてもらう。「この建物はRC」とか…ではなく。[流通]
- ・モチはモチ屋へ。木は材木屋へ。今ならまだノウハウを持っている材木店があります。数年後には世代交代が進み、そのノウハウがなくなっていきます。
1本、1枚の木を見極めることは、大工職人も含め、時間と経験でしか得ることができ

仕事の分類：③流通

ません。言葉で簡単に伝えるのは難しいことだと思います。

設計や検討会の席があるようですと、この様な人達も同席させ、意見を求めるような機会があればと思います。[流通]

- ・力（人、物、金）のない大工さんが活躍できる為のシステム作りが出来ないでしょうか。（川上〈建築士、材木店、製材〉によるバックアップ、フォローができれば大手メーカーと対抗できると思いますが…。難しいテーマです。）[流通]
- ・補助金制度の実施。
- ・県産材を使用するメリットの訴求。（一般消費者に対して）[流通]

■本日のセミナーについて、ご感想をお書きください。（2014.11.26）

- ・地域の工務店だけでグループを組織している点は、パワーを感じた。
会員同士で切磋琢磨して、拘りのある家創りがなされている所が成功の一因だとも思う。
[流通]

■その他県産材（国産材）の利用拡大について、自由にご意見をお書きください。

- ・弊社の大阪でのイベントには岡山県産材のブースがありません。奈良県産材などの他県ブースはあるのですが。。。是非ともご出店をご検討ください。[流通]
- ・木材のカスケード利用を行い、県産材料の単価を下げる工夫をすることが利用拡大につながるひとつの方法であると思います。[流通]
- ・品質面では他の地域と比べて優れているが、価格競争が弱点。[流通]
- ・近い将来、県産材（国産材）が、国産材（県産材）へと変化すると思われます。
それに備えて、当県も生産者（製材所）の強化が必要です。そうでないと産地間競争に負けてしまうと考えられます。[流通]
- ・輸入材と国産材の違いを積極的にアピールする必要がある。[流通]

仕事の分野：④材木店

県産材利用課題についてのアンケート結果

■県産材（国産材）を使用するには、どうすれば使いやすくなると思いますか。

- ・寸法の安定性をあげる。（乾燥モルダ―を基本として、ねじれ・そりをなくす為、芯去材・大径木を使い、乾燥技術も向上させる。在庫しても狂わないような材にする）
- ・特に繁忙期などにも対応できるように安定供給を確立する。
- ・住宅において、外材が選ばれる理由は、・価格、材の狂い、継続的に安定利用できる供給体制、削ったり、厚みを揃えたりする手間が省けることなどにあると思う。それをクリアするためKDモルダ―材は扱う者にとっては有効だと思う。[材木店]

■配布資料のCLT（直交集成材）について伺います。該当番号に○を付けてください。

- Q1
- | | | |
|----------------|---|---|
| 1：CLTについて知っている | → | 0 |
| 2：少し知っている | → | 1 |
| 3：まったく知らない | → | 0 |

- Q2
- | | | |
|-----------|---|---|
| 1：関心がある | → | 0 |
| 2：採用してみたい | → | 1 |
| 3：関心ない | → | 0 |
| 4：分からない | → | 0 |

回答数：計1件

Q3 CLTの普及するためのこれからの課題・問題点についてお聞かせください。

- ・一般の大工さんでも出来るような工法を確立する。（または工法をオープンにする）
- ・工法に使われる金物なども特殊なものではなく、一般的な普及品を使えるようにする。
- ・仕入先、販売ルートの門戸を開き、普及させる。価格をさげる。身近なものとする。
- ・大規模建築以外の身近なものへの使用出来るように化粧もの、規格品など手軽に使えるものを設ける。[材木店]

仕事の分野：④材木店

■住宅や公共建築物・民間建築物において県産材（国産材）の利用拡大をするには、どんな新しい制度や技術・情報が必要だと思いますか？

- ・公共などに指定する場合に、地元で普及している特殊な機械や設備がなくても供給できるものを指定するようにする。（材を1社供給ではなく、地域で段取りできるようにする。）
- ・また用途に応じて、必要のないところの乾燥基準などを緩和する。
- ・情報という面では、日本木青連もPRしています、炭素を固定化するために木を使い、化石燃料とは違い、再生できます。という考え方が簡単でわかりやすく、理解してもらえれば、木の利用につながるのではないかと思う。それを踏まえて、国産材の利用につなげられれば良いのではないのでしょうか。[材木店]

■本日のセミナーについて、ご感想をお書きください。（2014.11.26）

なし

■その他県産材（国産材）の利用拡大について、自由にご意見をお書きください。

- ・木青にて、木工工作などのイベントを行ってもかなりの参加者がいて、また、天然志向や木に対するイメージも決して悪くないと思います。そして、やはり愛着となると地元産材などの方が高いと思います。
それに反して、価格に対する不透明さや他の材と比べて高いという悪い印象、また火や騒音に弱いと言ったイメージがあるように思います。そういう不透明なところを理解してもらえれば、地元の物への愛着と良い点が理解され、利用は伸びるのではないかと考えます。[材木店]

仕事の分野：⑤－1 建設会社・工務店

県産材利用課題についてのアンケート結果

■県産材（国産材）を使用するには、どうすれば使いやすくなると思いますか。

- ・ 価格の安価安定。[建設会社・工務店]
- ・ 製材（軸組材）の強度、含水率等の明記。
- ・ 住宅以上の物件での製材活用も考慮し、市場等で取り扱い規格をサイズアップする。
例：3～4 m材中心。⇒6 mの横架材がとれる丸太も出すなど。[建設会社・工務店]
- ・ どのようなサイズ、材種等が供給可能か？
- ・ どの位の生産期間が必要か？
- ・ 山と製材供給 → 利用の中で市を通さないダイレクトな仕組み。
- ・ プレカット工場での県産材対応の可能か否かの情報。[建設会社・工務店]
- ・ 乾燥時間の短縮、乾燥度のばらつき（品質）を確保。[材木店／建設会社・工務店]
- ・ 情報の開示と商流のわかりやすさ。[建設会社・工務店]
- ・ 情報をきっちり出してもらえれば利用がしやすい。[建設会社・工務店]
- ・ 資材メーカーに材料として使用しやすいように仕向ける事ができないか？
- ・ 資材メーカーが安く材料を仕入れる事によって、持続する施策になると思います。[建設会社・工務店]
- ・ 構造材を使用した家は、費用の1/2を補助する。造作材も全て国産材とする。
それと同時に、金物も使用しないこと。胴差や小屋丸太も松材と国産材の杉、桧とする
（柱も杉、桧とする）
※外材は1本でもダメだ。
※テレビ、新聞でPRすること。[建設会社・工務店／設計事務所]

仕事の分野：⑤－1 建設会社・工務店

■配布資料のCLT（直交集成材）について伺います。該当番号に○を付けてください。

Q1 1：CLTについて知っている → 3
2：少し知っている → 5
3：まったく知らない → 1
(Q1無回答：1)

Q2 1：関心がある → 4
2：採用してみたい → 2
3：関心ない → 2
4：分からない → 2

回答数：計10件

Q3 CLTの普及するためのこれからの課題・問題点についてお聞かせください。

- ・木材使用量が多いため、大量生産が必要になり、欧米以上のコスパの良いインフラが不可欠。壁式パネルは、RCと同様に高層化には向かない先入観があり、未だ拭えていない。[建設会社・工務店]
- ・設計法の告示を早急に進める。[建設会社・工務店]
- ・JASの強度明確化。
- ・建築基準法（個別認定必要）
- ・床パネルとしての使用を検討したい。
- ・杉ラミナーの安定供給体制の構築
- ・地域のすばらしい技術の財産として関係団体お互いがチャレンジする意欲。[建設会社・工務店]
- ・現状での利点、難点を教えてもらえるといいのかも。
- ・コスト。[建設会社・工務店]
- ・意識の問題。[建設会社・工務店]
- ・値段が高いため、もう少し考えてほしい。また、CLTを採用した時の構造計算の簡単なソフトまたは事例集などがほしい。[建設会社・工務店]

仕事の分野：⑤－1 建設会社・工務店

- ・設計、施工者の育成。
- ・建築基準法の問題。[建設会社・工務店]

- ・日本の山は国産材であふれているから是非、杉、桧、松を使う。この事を実行する社会、大工を支援する。
※この条件で建築した家を、地域の子どもに見せる。(修学旅行のように)[建設会社・工務店／設計事務所]

■住宅や公共建築物・民間建築物において県産材（国産材）の利用拡大をするには、どんな新しい制度や技術・情報が必要と思いますか？

- ・県産材という定義を、より広域な産材として扱えるようになり、一般認識いただけること。[建設会社・工務店]

- ・製材（軸組材）の強度、含水率等の明記を義務化。[建設会社・工務店]

- ・個別の補助金制度をもっと増やす。
- ・県産材利用可能な新しい技術（架構システム）。
- ・構造設計のプロのリスト化。（どこに相談すればいいかわからない）
- ・建築物を計画する上で、まずは「ウッドファースト」（木造をまず一番）に考える流れへの意識の改革。[建設会社・工務店]

- ・木造の耐火性能、利点、建物をもっと広くアピールする。[材木店／建設会社・工務店]

- ・話し合い。[建設会社・工務店]

- ・公共施設等に県産材を使用して、もっと一般の方にPRする。
- ・県産材を使用した際の「ポイント」を付加する。価格面で比較すると、輸入材を使いたいのが、一般消費者の考えだと思う。[建設会社・工務店]

- ・全て国産材使用の家は（建前の時）当日の大工の支援を半分手伝う。また神主の費用も無料とする。（新材やベニヤ板を使用しないこと。檜の木の込栓とする条件）[建設会社・工務店／設計事務所]

- ・一般市民にわかりやすい政策をおこなう。他の政策と一緒にする。（別政策としない）
- ・一般市民によく知られている政策と一緒に政策をおこなう。（住宅エコポイントなど）
- ・所得税からの減税をおこなう。（ふるさと納税のように）[建設会社・工務店／設計事務所]

仕事の分野：⑤－1 建設会社・工務店

■本日のセミナーについて、ご感想をお書きください。(2014.11.26)

- ・非常に解りやすく大変参考になりました。
こういう実績のある経営者のセミナーをもっと企画してください。[材木店／建設会社・工務店]
- ・大変勉強になりました。さすが苦勞されていることだけあり、言葉がすべて本物だと思いました。取り入れたいです。[建設会社・工務店]

■その他県産材（国産材）の利用拡大について、自由にご意見をお書きください。

- ・建設は縮小傾向であり、土木その他の業種との連携や、他業種での自発的な利用拡大を促進するPR活動が必要に思います。[建設会社・工務店]
- ・現状、県産材の供給の上で重要なものの一つに乾燥があります。
原木供給が安定的に行われたとしても、今後この段階のキャパが増えないと需要に対応できない事になりかねません。
製材所での一段の導入を望みます。[建設会社・工務店]
- ・「工務店とのタイアップ」と「設計事務所とのタイアップ」標準化のすすめ。[材木店／建設会社・工務店]
- ・わかりやすい流通のしくみ。[建設会社・工務店]
- ・山の整備が出来ていないため、災害などが多く発生すると聞きました。
建設業、林業の見直しを行って、県産材利用UPを行ってほしいです。[建設会社・工務店]
- ・林野庁より表彰があること。
- ・小学校の授業で木造の家の作り方を教育する。そして中学生や高校生にもPRの学習を実行する。[建設会社・工務店／設計事務所]

県産材利用課題についてのアンケート結果

■県産材（国産材）を使用するには、どうすれば使いやすくなると思いますか。

- ・ 林業と製材業のバランスが取れるようになること。
- ・ 地域ごとで伐採から製造までをできるように整備していくことが必要だと思います。[設計事務所]
- ・ インフラの整備、特に乾燥。
- ・ 単年度計画では無く他年度計画による材料の調達や納期の確保により経済的な単価で生産する。[流通／設計事務所]
- ・ 規格を全国で統一し、カタログを作る。（住宅設備や接合金物のようなカタログ）
どんな材料が、どの長さあるのか？どんな材料がどこに適しているのか？どんな工法があるか？ このカタログを見ればわかる、というようなもの。[建設会社・工務店／設計事務所]
- ・ 在庫をふやし、単価を下げる。材料コストを下げる。[設計事務所]
- ・ 住宅など天井高の高い建物が増えているので、柱の長さ 3.5m規格品を設ける。[設計事務所]
- ・ 柱の長さについて…建築基準法では、2階建て重い屋根の柱の細長比は28分の1なので105角ならL＝土台天端～梁下まで2m940となり、ホゾ上下を入れると、105角では3mは理にかなっている。120角ならL＝3.36mとなり、3.5m長さの柱があると天井高、階高がムダなく高くできると思う。[設計事務所]
- ・ どの工務店から頼んでも入手できる流通経路と販売店の確立。[設計事務所]
- ・ 県北一帯の植林に限らず、全県下（特に大都市周辺）に植林地を持つべきと思います。
こうした都市近郊林（製材がメインだが、切り倒すまではビオトープや森林浴なども出来る市民に開放された林）と製材業者が一体となって流通革命を起こすことが出来れば、より一層、木が身近になり、国産材が浸透すると思います。[設計事務所]
- ・ 県産材取扱業者と施工対応業者とのネットワーク作り。
- ・ 設計及び施工会社の受け皿となるネットワーク作りが大切と考える。[設計事務所]

仕事の分野：⑤－2 設計事務所

- ・ 価格を下げる。[設計事務所]
- ・ 低コストでの造作材料、使用例等の紹介。
- ・ 杉等で出来るだけ赤みの少ないもの。[設計事務所]
- ・ 県産材の在庫情報、市況、原木供給から製品化期間などの情報サイトを構築する。
- ・ 県産材利用住宅のコンペ実施。[設計事務所／研究者]
- ・ プレハブメーカーの住宅が多く建てられている状況で、地域の木材や素材を使った建物はまだまだこれからの感がありますが、何とか地域の素材を使った建築を建てる事の大切さを伝え続ける事が一番であると考えます。
- ・ 流通のシステムの確率が大切と考えます。[設計事務所]
- ・ 材種、規格サイズの一覧表。
- ・ 補助金の有無と、その申請概要（問い合わせ先）。[設計事務所]

■配布資料のCLT（直交集成材）について伺います。該当番号に○を付けてください。

- Q1
- | | | |
|----------------|---|---|
| 1：CLTについて知っている | → | 4 |
| 2：少し知っている | → | 9 |
| 3：まったく知らない | → | 2 |
- Q2
- | | | |
|-----------|---|---|
| 1：関心がある | → | 8 |
| 2：採用してみたい | → | 2 |
| 3：関心ない | → | 1 |
| 4：分からない | → | 3 |

(Q2無回答：1)

回答数：計15件

仕事の分野：⑤－2 設計事務所

Q3 CLTの普及するためのこれからの課題・問題点についてお聞かせください。

- ・現状コスト面で高いイメージがあるので、普及拡大に伴って価格も使い安いようになると良い。[設計事務所]
- ・接合金物の開発。
- ・价格的な訴求。[流通／設計事務所]
- ・木造耐火などの建物が法改正後が増えると思われるが、CLTを作っている工場が全国で3ヶ所と少ないので、需要に追いつかない状況が見込まれる。[設計事務所]
- ・CLTについてのセミナー講習会が必要と思う。
- ・具体的にどう使えるか、事例が欲しい。
- ・費用（コスト）はどうか、在庫、入手方法、設計手法と課題が多い。[設計事務所]
- ・建築法規の改正等。[設計事務所]
- ・どこから頼んでも入手できる流通経路と販売網の確立。
- ・販売価格。
- ・設計、施工技術の普及。
- ・使用量の拡大方策。[設計事務所]
- ・従来のLVL等に比べて、よりコストダウンがしやすく供給もしやすくなると思うので、徐々に普及していくでしょう。現時点では、法的な問題等、若干の課題や問題はあるかも知れませんが、たいして気にする事はありません。それより、大規模工場で大量生産するのではなく、地域ごとの小規模工場でよりきめ細やかに対応する事や、また林業従事者の雇用の面でも都市近郊にCLT工場を誘致する事が重要です。[設計事務所]
- ・情報を知らない為、メディアに情報配布が必要と考えます。[設計事務所]
- ・広告、見学会などを行う。[設計事務所]
- ・一般的な使い方、マニュアル等。[設計事務所]
- ・仕様とその工法。
- ・経済的メリット。[設計事務所]

仕事の分野：⑤－2 設計事務所

■住宅や公共建築物・民間建築物において県産材（国産材）の利用拡大をするには、どんな新しい制度や技術・情報が必要だと思いますか？

- ・公共の木造建築物は増えていく一方で、民間の事業者に対して木造建築物、木を使う事のメリットがうまく伝わってないように感じる。[設計事務所]
- ・公共建築においては発注側の認知をもっと上げる。
- ・民間建築物においては補助制度の拡充。[流通／設計事務所]
- ・補助金をつければ良いと思います。
- ・補助金ができる建築物の規制緩和など。
- ・設計者の木に対する知識の向上のために、講習会の開催。[設計事務所]
- ・県内に木材の技術、納期、金額を公的立場でコンサルティングしてくれるプラットフォーム的な役割の場所を設けてほしい。[設計事務所]
- ・住宅や公共建築物、民間建築物について優秀な建築物には表彰制度を設けたら良いと思う。本日セミナーで紹介された兵庫県の取り組み（金利が1%安くなる）参考になる。[設計事務所]
- ・ユーザーに分かりやすく、値段を知ってもらう。[設計事務所]
- ・制度や技術はすでにあると思います。
- ・建築業界や林業関係だけでなく、地域の環境保全、CO2削減、地域再生などの将来像の目標をはっきりさせて、その為の地域材利用という方法をアピール、情報発信という順番ではと思います。[設計事務所]
- ・特に新しい制度も技術も必要ありません。材料的には問題ないので、コストダウンと顧客ニーズに沿ったきめ細やかなカスタマイズが出来さえすれば、やがて自然に普及します。[設計事務所]
- ・耐火要求、内装制限等の法的規制への対応が急務と考える。[設計事務所]
- ・補助金をつける。
- ・義務化。[設計事務所]
- ・よく知りません。
事例等、優れたデザイン紹介。[設計事務所]

仕事の分野：⑤－２ 設計事務所

- ・ 建築系教育機関に対する、木造関係授業を提供する。[設計事務所／研究者]
- ・ 耐火に対する技術の向上。
- ・ 木の建物の精神的良さのPR。[設計事務所]
- ・ 補助金の充実を計る。[設計事務所]

■本日のセミナーについて、ご感想をお書きください。(2014.11.26)

- ・ 元気づけられる良い話でした。これからの住宅市場の分析により、これからの地域の建築業界の推測と目指す方向は、おおいに参考になりました。[設計事務所]
- ・ 現在の住宅業界事情を分かりやすく説明していただいたので、大変参考になった。[設計事務所]

■その他県産材（国産材）の利用拡大について、自由にご意見をお書きください。

- ・ 集成材について敬遠する自治体が多い。無垢材の長短所、集成材メリットなど啓蒙活動が必要。
- ・ 一般流通外材と比較して価格UPとなるケースが多い。輸入外材と同等金額で採用できる助成、または将来期待できるインフラ整備の助成が欲しい。[流通／設計事務所]
- ・ まずは内装材として木材を使いやすくする。(建築基準法の緩和)
- ・ 建築物だけでなく、乗り物、橋、交通標識などにも使うことを考える。[建設会社・工務店／設計事務所]
- ・ テレビやCMでのPR。
- ・ 国や都道府県が先陣を切って公共建築物に利用をしていく。[設計事務所]
- ・ 木造建築の質を向上させる目的で、木造建築アイデア、デザインコンクールを開催する。[設計事務所]
- ・ 岡山県木材利用助成事業は住宅にとどまらず、一般民間建築物にも制度化できると良いと思う。[設計事務所]
- ・ かつての大量生産の弊害で、材種が少なく使い勝手が悪いのが国産材の欠点です。もっ

仕事の分野：⑤－２ 設計事務所

と、使える樹種を増やし、手軽に供給できる仕組みに変えるべきだと思います。そうすれば、単に海外勢とのコスト問題だけの競争にはならなくなると思います。[設計事務所]

- ・ハウスメーカーとのタイアップや、県へプロジェクトの発案及び実施、一般コンペティションの開催。[設計事務所]
- ・東京、大阪のように、岡山にも木材会館をつくる。[設計事務所]
- ・中国地方の木材関係組織の連携を強め、建築関係教育機関への木造建築について普及促進のイベントを行う。[設計事務所／研究者]
- ・行政の考えがまだまだです。役所も木の大切さ、素晴らしさの意識改革が必要です。高松市の新しい統合学校建築は鉄筋コンクリートばかりです。[設計事務所]
- ・林業の近代化による労働者の就業の安定を促進する。
- ・住宅の場合はハウスメーカー（シェア率が高い為）に一定の使用義務を課する。[設計事務所]

仕事の分野：⑦研究者

県産材利用課題についてのアンケート結果

■県産材（国産材）を使用するには、どうすれば使いやすくなると思いますか。

- ・地域ごとによる生産組合等の確立、年間に応じたの一定価格の明示・公表（変動の少ない価格維持体制づくり）、在庫確保の公表体制を明確にする。[研究者]

■配布資料のCLT（直交集成材）について伺います。該当番号に○を付けてください。

- Q1
- | | | |
|----------------|---|---|
| 1：CLTについて知っている | → | 1 |
| 2：少し知っている | → | 1 |
| 3：まったく知らない | → | 0 |
- Q2
- | | | |
|-----------|---|---|
| 1：関心がある | → | 1 |
| 2：採用してみたい | → | 0 |
| 3：関心ない | → | 0 |
| 4：分からない | → | 1 |

回答数：計2件

Q3 CLTの普及するためのこれからの課題・問題点についてお聞かせください。

- ・既存の建築法に比べ情報が少ないので、消費者が将来の生活をイメージできる程度の情報提供が必要と思われる。（公共建築物とは、生活のイメージが異なる）[研究者]

- ・材質保障制度の確立、価格の低廉化。[研究者]

仕事の分野：⑦研究者

**■住宅や公共建築物・民間建築物において県産材（国産材）の利用拡大をするには、
どんな新しい制度や技術・情報が必要と思いますか？**

- ・ 温暖化時代を見据えた、「省エネ性能」の開示。
(<http://www.jhf.go.jp/files/100062483.pdf>)
- ・ 高性能住宅の購入に対するローン金利の優遇制度への組み入れ。
(<http://www.pref.okayama.jp/page/391827.html>)
- ・ メンテナンスコストの試算・開示。
(<http://www.nikkeibp.co.jp/article/sj/20111007/286687/?P=7>)
- ・ 掃除機ロボットなど、ロボットの使用を前提とした住宅設計。
(<http://fortune.ait.kyushu-u.ac.jp/r-city-j.html>) [研究者]

- ・ 県内木造公共建築物の主要構造材への県産材使用を義務化する制度の確立。（県、市による岡山木材ブランドのPRにつなげる目的を持つ）[研究者]

■本日のセミナーについて、ご感想をお書きください。（2014.11.26）

なし

■その他県産材（国産材）の利用拡大について、自由にご意見をお書きください。

- ・ リビングが広くなる傾向があり、家電の配置も、従来と異なる傾向があるので、間取りも需要に合わせたものにする。(<http://itot.jp/know-how/381>) [研究者]

- ・ 県産材木材価格の「見える化」による、供給体制の確立の必要性。[研究者]

県産材利用課題についてのアンケート結果

■県産材（国産材）を使用するには、どうすれば使いやすくなると思いますか。

- ・まだまだ地域によってインフラの問題があり、ある程度在庫を整えている所、そうでない所がある。単年度事業ではどうしても工場の製作時宜が集中し、使いづらさもある。[その他]
- ・県産材仕様案件が出てきた段階で、都度に伐採するのでなく、多用できる規格サイズ（4m程度）をある程度ストック材として確保することで、コストを抑えることができ、物件を提案する際もまず県産材利用を前提にすることができる。[その他]
- ・在庫の確保。[その他]
- ・価格を外材並に安くする。もしくは、木造にする場合は木質化よりも補助金の金額を上げる。公共案件の発注時期をずらす。もしくは、年度またぎなどの期間設定を自由にする。[その他]
- ・県産材があっても加工工場が近くないと手間やコストが増える。加工拠点が各地に必要だと思う。
- ・県産材を使いたい際に、相談できる窓口があると良い。[その他]
- ・納期、時期により流通性に限りがありますので、納期が読めない点を改善。
- ・供給量が安定しない為、価格が安定しない点を改善。[その他]
- ・地産地消が大事だと思います。輸入木材が安く海外から入ってきていますが、県の林業発展のための政策も必要です。県産材は、輸入木材に比べてどういうメリットがあるのか。そこをもっとアピールし、県産材が使われるようにしたらよいと考えます。（国産材利用についてのセミナーを事業者向けに開催する。）[その他]
- ・材種、品質、在庫などが一目で分かる用に、インターネット上でリアルタイムに表示できれば、使いやすくなると思う。[その他]
- ・流通コストを抑え、価格競争力を身につけることが必要と思います。また、信用できるブランドとか、規格のようなものがあると良いと思います。[消費者／その他]
- ・品質面の良さをPR。[その他]
- ・在庫管理場所、送料、運搬費にコストがかかりすぎている？ [その他]

仕事の分野：⑧その他

■配布資料のCLT（直交集成材）について伺います。該当番号に○を付けてください。

Q 1 1：CLTについて知っている → 5
2：少し知っている → 8
3：まったく知らない → 2
(Q 1 無回答：2)

Q 2 1：関心がある → 10
2：採用してみたい → 3
3：関心ない → 0
4：分からない → 3
(Q 2 無回答：1)

回答数：計17件

Q 3 CLTの普及するためのこれからの課題・問題点についてお聞かせください。

- ・ 価格と構造設計に対する考えを明確化。[その他]
- ・ CLTだけで構造体とするのではなく、耐力壁として意匠的に用いることができたり、他の接合金物等と組み合わせて流通材とも併用できる形にする。[その他]
- ・ 耐力壁としての使用。[その他]
- ・ 課題：価格の低減。
- ・ 問題点：法律の整備と輸送に関する問題（効率化）を解決する。[その他]
- ・ コストの低下、生産拠点の増加、施工方法の普及
- ・ 日本で普及している構法との融合。[その他]
- ・ 早期に設計方法の確立をする点。
- ・ 市場価格で提供できるようにする。
- ・ 今以上の大きいサイズが生産できる体制がなければ空間の自由度がない。[その他]
- ・ CLTの建築物を普及していくには、CLTに関する基準強度や設計基準を早期に整備していくことが必要と考えます。併せて、CLTの普及に伴いとまった需要に対応できるように、CLTパネル等資材の供給体制の整備も不可欠と考えます。[その他]

仕事の分野：⑧その他

- ・ 建築中の現場見学会を積極的に実施してアピールする。[その他]
- ・ ノウハウを公開していく必要はあると思います。
できれば、メディア等積極的に取り上げてもらいたい。
住み心地や、居心地はきっと既存の大型建物に勝ると思いますので、そのあたりのPRを進め、認識向上を計りたい。[消費者／その他]
- ・ 工務店へのPRを充分に行う。[その他]

■住宅や公共建築物・民間建築物において県産材（国産材）の利用拡大をするには、どんな新しい制度や技術・情報が必要と思いますか？

- ・ 国産材の流通材を増やして川上から川下に向けた利用促進をかけていく。[その他]
- ・ ある程度の在庫の確保と補助金制度。[その他]
- ・ 補助金の拡充と発注時期の一極集中解決、納品までの期間確保の観点から工期を見直す。
[その他]
- ・ 県産材を利用した施主、施工業者、設計者などへの補助金制度。[その他]
- ・ 県産材仕様の計画を増やす。単年度ではなく、3年先を見据えて計画をする。
- ・ 毎年、安定した供給先があれば、安定した生産と価格で提供できる。[その他]
- ・ 木造住宅や木造施設などは、見た目や健康面でも良いイメージがありますが、県産材などは、やはり価格が気になります。住宅の場合は、他産地の物を使う場合と価格が変わらず、なおかつ助成や減税などが全ての都道府県であれば良いと考えます。[その他]
- ・ 実物を見られる展示場があると、より使いやすくなると思う。[その他]
- ・ 耐震、耐火における法改正の他にも、県産材を使用することによる助成金制度が明確になれば、利用拡大につながるのでは。[その他]
- ・ とりあえず補助金政策は、あるとありがたい。
技術的には、特に接合や歪み等については、しっかり検証実証していただきたい。[消費者／その他]
- ・ 県産材で設計指定をする。[その他]

仕事の分野：⑧その他

- ・ 木材を安定供給できる体制づくり。
- ・ 品質の一定化。
- ・ 思いつきでのアイデアではなく長期的ビジョンにたっているかどうか判断できる資料。[その他]
- ・ 県産材を使用した建築物に対しての補助金制度。

■本日のセミナーについて、ご感想をお書きください。(2014.11.26)

- ・ なかなか興味深い話でした。[その他]
- ・ 勉強になりました。[消費者／その他]

■その他県産材（国産材）の利用拡大について、自由にご意見をお書きください。

- ・ 発注者の知識不足と現状認識の甘さを改善し、勉強して欲しい。
また、元請の協力と理解力向上の為、勉強会を開催してはいかがでしょうか？
大規模木造と住宅や在来工法を一緒に捉えるのは、やめるような啓蒙活動が必要と感じます。[その他]
- ・ 事業者（役所、社会福祉法人）に対し、非木造の場合とのコスト比較や建築事例を紹介するなどして、木造化への働きかけを行っていく必要があると考えます。[その他]
- ・ 構造材にどうしても目がつきやすいが、家具、建具、内装材まで県産材が活用できると、もったいい。[その他]
- ・ 岡山県が先進的に木材促進について活動できるようになればいいと思います。
そのためにも、様々なイベント等で認知度を上げていくことが重要だと考えます。[その他]
- ・ コスト面でのメリットを出す様。[その他]
- ・ 林業従事者の確保と、その方々の生活の保障を行う。[その他]
- ・ 国産材の地場の木材が利用拡大されている事は、とても素敵な事だと思います。[その他]